
メチル水銀による健康影響にかかる疫学調査 のフィージビリティ調査について

令和8年1月
企画課特殊疾病対策室

- 水俣病被害者特別措置法の規定を踏まえ、メチル水銀による脳への影響を客観的に評価するための手法*を開発するとともに、外部有識者による検討会を開催し、健康影響にかかる疫学調査の在り方について、以下のようにとりまとめた。（令和7年3月27日）

*脳磁計（MEG）及びMRIを用いた評価手法

メチル水銀による健康影響にかかる疫学調査の方向性 – これまでの議論の整理 – （メチル水銀による健康影響にかかる疫学調査の在り方に関する検討会）

目的 地域に居住している方々の水俣病に関する健康不安の解消に資するよう、以下の地域間における結果を比較し、地域におけるメチル水銀の影響を含む健康状態を評価する。

対象地域・対象者

- ①メチル水銀ばく露の高かった地域
 - ②その周辺地域
 - ③通常起こり得る程度を超えるメチル水銀ばく露がなかった地域（対照地域）
- ・対象地域の住民のうち、一定の年齢以上の者から無作為抽出

調査項目

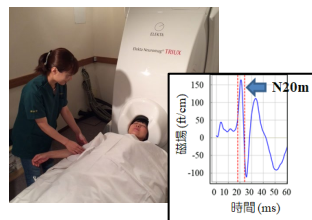
問診



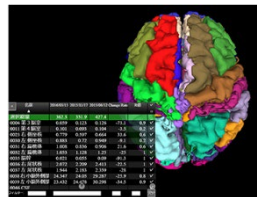
専門医による神経学的診察



脳磁計（MEG）



MRI



①②③について
地域間（群間）比較

※参加者や検査者の更なる負担軽減方策を検討し、検査時の対応等十分に配慮

今後の進め方

今後、環境省を中心とした関係機関等において、これまでの議論の整理を踏まえてフィージビリティ調査を行い、本検討会において指摘された課題について検討。

フィージビリティ調査の概要

メチル水銀による健康影響にかかる疫学調査の実施に向けた準備の一環として、調査の流れや検査の動作等の実施可能性を確認するため、以下のフィージビリティ調査を実施。

対象人数：40名程度

対象地域：熊本県天草市、上天草市

調査会場：

熊本大学病院(熊本市)

問診・診察

国保水俣市立総合医療センター(水俣市) 脳磁計(MEG)・MRI検査

調査スケジュール：

調査対象者への協力依頼※(郵送):令和7年10月下旬に郵送

問診・診察・検査:令和7年11月下旬に開始（現在も継続中）

※住民基本台帳から無作為抽出された800名程度に協力依頼状を発送

※ フィージビリティ調査では、地域間(群間)比較は行わない。

※ 調査参加者には一般的なMRI検査結果を返却予定。また謝金や交通費等をお渡しする。